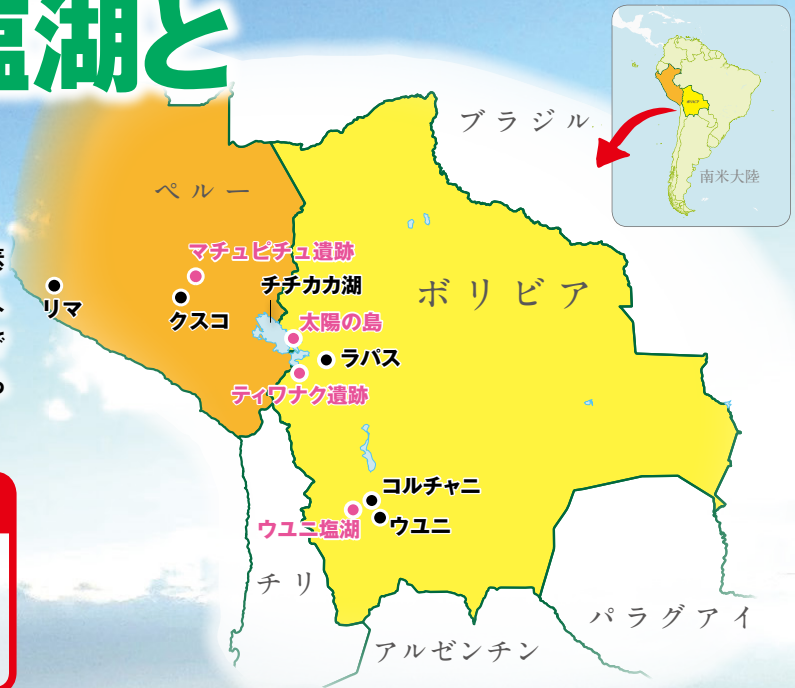


憧れのウユニ塩湖とマチュピチュへ

今回の特別企画はボリビアとペルーが旅の舞台です。近年その素晴らしい自然景観から「一生に一度は訪れてみたい絶景」として人気の高いウユニ塩湖でその絶景をたっぷり満喫し、ウユニ塩湖でのサンライズで2019年の初日を迎えます。なおAコースでは、こちらも第1人気の世界遺産マチュピチュ遺跡も訪れる充実の内容です。



～お申し込みはお早めに～

今回の企画は年末年始の期間となり、ホテルや航空機は大変混雑いたしますので、早い時期に予約で埋まってしまうことも多いのが現状です。確実に予約を確保してツアーを催行するためにも、是非お早目のお申し込みをお願いいたします。

一生に一度は行きたい絶景、ウユニ塩湖

世界最大の広さを持つ塩の湖ウユニ塩湖。12月～4月の雨季の季節には「天空の鏡」と言われる巨大な鏡のような状態となります。日中には周囲の山はもちろん青空や雲が湖面に映りまるで空に浮かんでいるような、そして夜には星空が映り込みまるで宇宙空間にいるかのような幻想的な世界を体感できます。『一生のうちに一度は訪れてみたい世界の絶景』に挙げられるほど注目の場所です。



宇宙空間のような夕陽に染まるウユニ塩湖



薄く水が張った水面を歩く

古からの文化が色濃く残るボリビア

ボリビアの正式な国名は「ボリビア多民族国」です。その名の通り、ケチュア族やアイマラ族、チキタノ族など先住民(インディヘナ)が国民の3割とされ、南米諸国の中でも1番の割合です。食文化はジャガイモやトウモロコシを主食とし、放牧した牛肉や湖で取れたマスなどに素朴な味付をした料理が特徴です。なお、ボリビアの民族音楽(folklore)も夕食時に堪能します。



インディオの子供たち



トルーチャ(マス)とキヌアの夕食

“塩の宮殿”に宿泊

ウユニ塩湖に面するコルチャニでの宿泊はPALACIO DE SAL(コース/9日間)。直訳すると「塩の宮殿」です。その名の通り、壁や天井などが塩で作られている非常にユニークな宿泊施設です。白で統一された館内は明るく、ところどころに塩の彫刻が置かれ、まさに宮殿のような雰囲気です。一步外にはウユニ塩湖が広がる絶好のロケーションで、朝日や夕日、また星空観賞などへのアクセスも容易です。



塩で造られた柱や椅子



天井も塩で固められている

世界遺産マチュピチュ&クスコと聖なる谷

多くの謎が残る世界遺産のマチュピチュ遺跡をはじめ、当時の首都であったとされるクスコなど、インカ帝国繁栄の軌跡の残る魅力の地域です。なおクスコとマチュピチュ遺跡の間に位置するウルバンバ谷は、セイクリッド・バレー(聖なる谷)と呼ばれ、氷河を抱いた6000m級の山々に囲まれた谷です。インカ帝国時代には重要な要塞や宿場町が存在し、現在でも多くの遺跡が残されています。



聖なる谷のオリヤタイトアンボ遺跡



世界遺産マチュピチュ遺跡